

【お役所仕事 点検・見直しプロジェクトについて】

(質問)

お役所仕事 点検・見直しプロジェクトについてですが、市長は所信表明で「市民の皆さんから「親方日の丸」や「お役所仕事」などと批判されることのないように、しっかりとした戦略のもとで信頼される市政を推進していく」と述べられました。そもそも、市民が批判する「お役所仕事」とは、どういったことを指しているかと認識されているのでしょうか？市民から「お役所仕事」などと批判されることについてどのように考えておられるのでしょうか？また、お役所仕事を改善するしっかりとした戦略とは具体的にどういったことを指し、どのような戦略で、市民から信頼される市政を実現するおつもりなのでしょうか？

<答弁>

「お役所仕事」とは、一般的には、「形式主義に流れ、不親切で非能率的な役所の仕事振りを非難している言葉」とされております。時として、行政が陥りがちな傾向として、各種申込窓口において、申込者の実情をよく聞かず、窓口をたらいまわしにされたり、「法令や規則等で決まっているから」と柔軟な対応に欠けたりすることがあると言われております。

このように一般的に言われているような状態に陥ることのないよう、「事務事業のゼロベースでの見直し」、「市有施設の効率的・効果的な活用」、「ワンストップサービスなど手続きの簡素化・スピード化」などに取り組むこととし、これらを「お役所仕事 点検・見直しプロジェクト」と総称する。

(質問)

お役所仕事 点検・見直しプロジェクトについてですが、職員の方々だけで点検や見直しをしようとしても、何が悪いのか、どう改善すれば良いのか分からないのではないのでしょうか。個人的には、もう何年、何十年と市民の方々から「お役所仕事」と批判されてきた行政体質が、そう簡単に解消されるとは到底思えません。職員の方々だけではなく、民間の方にこのプロジェクトを実行してもらった方が、「お役所仕事」の解消につながると思うのですが、いかがお考えでしょうか？

<答弁>

先ほど、ご答弁申し上げました、「お役所仕事 点検・見直しプロジェクト」にかかわる各種の取り組みにつきましては、適宜、外部の視点も視野に入れながら、取り組みを進めていく。

(意見・要望)

お役所仕事 点検・プロジェクトについてですが、市民の方が行政を批判される際に、「民間やったら考えられへん」とよく言われます。つまり、民間の感覚がなければ、このような市民の方々の不満に対応することはできないと思います。「適宜、外部の視点も視野に入れながら」とあまりにも積極性を感じない、これぞまさしく「ザ・お役所仕事」のご答弁でしたが、適宜とか視野に入れるではなく、民間の視点、意見を最大限活用して頂きたいと強く要望しておきます。また、新たに民間の方を登用してこのプロジェクトを行うことが難しければ、ここ数年で民間企業等の経験者で採用された方がら

0名以上おられ、様々な部局で働いておられると思います。そういった方々をこのプロジェクトに積極的に関わって頂くなど、是非とも、様々な形で民間のノウハウを取り入れ、貪欲に行政の組織体系、職場体質及び職員の方々の意識改革に努めて頂くことを強く要望しておきます。

【(仮称)文化芸術センターについて】

(質問)

(仮称)文化芸術センターについてですが、補正予算で(仮称)文化芸術センター整備計画の策定に300万円が計上されています。2003年度から2004年度にかけて策定された基本構想・基本計画とはどのような違いがあるのでしょうか？(仮称)文化芸術センターは、老朽化した市民会館の現地建て替えにあわせ設置することを検討されてきましたが、進展がないまま今日を迎えてしまった気がします。結果、来年4月から数年間、市民会館を休館せざるを得ない状況に陥ってしまいました。かなり前から、検討が開始されていたにも関わらず、市民会館休館と同時に建て替えや補修等の着工に移ることができなかったのは何故でしょうか？2007年度から行われてきた(仮称)文化芸術センターにおけるVFM評価の検討では、センターの整備・維持管理・運営にどれくらいのコストがかかると算出されたのでしょうか？一方で、現在の市民会館の維持管理・運営にはどれくらいのコストがかかっているのでしょうか？

<答弁>

(仮称)文化芸術センターに関するご質問にお答えします。

(仮称)文化芸術センターにつきましては、平成16年に基本構想を、平成17年度に基本計画を策定し、また、平成19年度にPFI導入可能性調査を行い、平成20年度に、同調査を受けまして、事業化に向けた調査を実施いたしました。

これらの調査の中で、ホール部門、美術部門、博物部門の基本計画を前提に、事業メニューや施設配置について検討してまいりましたが、今回、3部門の運営の運営の一元化のもと、限られた財源を有効に活用することを念頭に見直しを行うものでございます。

また、この間、事業に着手できなかったことは、財政状況によるところが主な要因ではございますが、今回の市民会館の休館につきましては、昨年度実施しました耐震診断の結果、一部において耐震性の基準を下回ったことから、耐震補強や施設の補修、設備の更新に係る経費等を総合的に勘案した結果、休館することとしたものでございます。

なお、平成20年度の調査の際には、施設の整備に係る費用は80億円程度、アクア文化ホールも含めたセンターの維持管理・運営に係る経費は年間7億円程度を想定しておりました。また、平成21年度の市民会館・アクア文化ホールの維持管理・運営に係る費用は約1億5千万円ですので、よろしく申し上げます。

(質問)

(仮称)文化芸術センターの設置が財政難で見送られてきたことはわかりますが、現状の財政状況もこれまでとほぼ同じか、むしろ厳しくなっているように思われます。そうした中、本当にセンターの設置は可能だとお考えなのでしょうか？財政難のためセンター設置のために積み立てた文化施設建設基金は一般会計にかなりの額が繰り入れされています。本来、積み立てられているべき金額と実際に残っている金額を教えてください。繰り入れたお金は、センターを設置するまでに、一般会計から全額返済できると考えておられるのでしょうか？もし、返済計画も立てられない状況でセンターを設置するとすると、どのように財源を捻出するおつもりなのでしょうか？

私は、今日の財政状況・社会状況・市民ニーズを考えると、市民会館をそのまま建て替える方が良いのではないかと考えます。ホール機能だけにすることで、経費削減になり、規模を縮小し、余ったスペースを別の事業に活用したり、民間に売却もしくは借り上げてもらう方が現実的ではないでしょうか。美術機能や博物機能を市が新たに設置、運営するよりも、現在ある市有施設を有効活用し美術品等の展示を行う方が豊中市の身の丈に合っていると思いますが、いかがお考えでしょうか？

<答弁>

(仮称)文化芸術センターに関する再度のご質問に答えします。

文化施設建設基金の平成21年度末残高は47億207万8,000円、そのうち一般会計に繰り入れ運用を行っている金額は40億1,782万1,000円でございます。

資金計画につきましては、市が起債により資金を直接調達する場合を、PFI等民間が資金を調達し、施設整備の終了の後、償還する場合とで償還時期と期間、金額が異なるものがございますが、今年度の検討結果を踏まえ、事業手法と資金計画について検討してまいりたいと考えております。

また、美術品等の展示には、一定規模のフラットなスペースと天井高のほか、空調等の展示環境の確保等が必要であり、現在の市有施設の改修では困難であると考えております。

いずれにいたしましても、(仮称)文化芸術センターの整備につきましては、事業メニューや施設規模の見直しを行い、具体的な整備計画の策定に着手してまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(意見・要望)

(仮称)文化芸術センターについてですが、私は文化、芸術を否定するつもりはありません。しかし、現在の様々な状況を考えると、豊中市に必ずしも美術機能、博物機能を有する施設を設置することが妥当だとは思いません。新たにホール機能だけの市民会館を建てるよりも建設に数億円から数十億円、管理・運営に毎年約5億5千万円も費用が多くかかり、事業を実施するなら、財源はほぼ借金で賄うしかない状況なのです。また、今日の財政状況を考えると、センターの設置までに、何年かかるかわかりません。その間、現行の市民会館は閉鎖が続き、市民会館でしかできない催しや長年行われてきた事業を今後どのようにされるのか心配です。さらに、全く使用されない建物が長い間、立地し続けることは治安上も好ましくないと思います。現行の市民会館をホール機能のみで建て替えるのか、耐震補強工事をしてしばらく活用するのかを検討し、早急に建て替え、もしくは耐震補強工事を行い、市民が活用できる有効施設にする方が、現実的かつベターな判断ではないかと意見しておきます。

【上下水道事業の経営と料金について】

(質問)

上下水道事業の経営及び使用料金について伺います。今回、水道料金及び下水道使用料の改定により、上下水道料金の引き下げを行うとのことですが、軽減される利用者負担はどれくらいでしょうか？一方、水道事業、下水道事業はどれくらいの減収となるのでしょうか？議案参考資料には、「水道事業、下水道事業は効率的な経営に努めたとしても2013年度にはそれぞれ約1億6千万円、約1億2千万円の資金不足を起こしてしまう。」「大阪府営水道が今年4月に受水料金を10円10銭引き下げたことで、この受水料金引き下げ分を今後不足する資金の財源に充てることができれば、現行の料金水準をしばらくの間は維持することが可能となる」と記載されています。

数年後の資金不足を想定され、かつ、「持続可能な事業経営を行っていくためには、経営基盤の強化を図っていく必要がある。」と認識を持たれているにもかかわらず、今後不足する資金の財源に充当しないのは何故でしょうか？

また、上下水道は膨大な施設を基盤とした事業で施設の更新事業や耐震化事業などを計画的かつ継続的に実施していく必要があるとのことですが、今後、資金不足で施設の更新・維持補修事業が先送りされることは全く想定されてないのでしょうか？

<答弁>

上下水道料金の引き下げによって軽減される負担金額についてであります。水道料金では、標準的な世帯として、水道メーターの口径が20ミリで1か月あたり20立方メートルご使用の場合、146円、年間にして1,752円お安くなる計算となります。

下水道使用料では、基本水量制の廃止により、1か月あたり10立方メートル未満のご使用なら現行よりお安くなります。ちなみに1か月あたり6立方メートルご使用の場合、これまでは548円でありましたが、改定後は506円となり、42円お安くなります。

次に、改定による水道事業、下水道事業の減給額についてであります。水道事業につきましては、今回の値下げ改定は、大阪府営水道の値下げ分を還元するものでありますので、当初計画に対しての減収額はありません。

一方、下水道事業につきましては、基本水量制の廃止による減収額として年間約3千万円を見込んでおりますが、この減収額につきましては経営努力により対応していきたいと考えております。

大阪府営水道の値下げ分を今後不足する資金の財源に充当しない理由についてであります。厳しい経済環境の中、今ここで少しでも市民のみなさまの負担の軽減を図ることが市の最重要施策であると考え、今回は、府水の値下げ分をすべて還元することといたしました。

今後、資金不足で施設の更新・維持補修事業が先送りされることは想定していないかについてであります。ライフラインである水道にとって安全・安定給水の確保は必要不可欠であり、資金不足による施設の更新・維持管理の先送りは許されるものではないと認識しております。

(質問)

上下水道事業の経営及び使用料金についてですが、市長は所信表明で、「上下水道事業については、負担の公平性、合理性の確保、適正な料金負担による経営基盤の強化を図る。」と述べられていますが、負担の公平性・合理性の確保とはどういう意味でしょうか？私は、数年後に不足が見込まれる資金の財源に大阪府営水道の受水料金値下げ分を充当した方が合理的だと思いますが、いかがでしょうか？さらに、現状ですら数年後に資金不足が見込まれるにもかかわらず、現行よりも値下げをした金額が、どうして適正な料金負担といえるのでしょうか？

また、今回の料金算定期間は2013年3月までとなっており、その後に見込まれている資金不足が発生した場合は結局、料金の値上げを行うつもりでおられるのでしょうか？

<答弁>

水道料金の負担の公平性・合理性の確保の意味についてであります。水道料金は水道サービスに対する対価として負担していただくものであります。ご利用できる水量は、給水管の口径などによって異なりますので、それを客観的に判断できる水道メーターを用いて基本料金を設定することで、より負担の公平性が図られるものと考えております。また水道料金は、算定期間内に水道料金で回収すべき費用を基に、給水管口径や水道の使用形態など明確な根拠や考え方にに基づき算定していくことが、合理性の確保につながるものと考えております。

適正な料金負担についてであります。料金とは、能率的な経営の下、適正な原価に照らして、公正、妥当なものでないと考えております。今回、費用の約半分を占める受水料金が引き下げられたことにより、原価が大きく減少したため、この原価に基づき料金を改定しようとするものであります。

今後、見込まれる資金不足につきましては、引き続き効率的な経営に努めて対応してまいります。それでもなお資金不足が見込まれる場合は、一定の料金負担をお願いせざるを得ないと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(意見・要望)

上下水道事業の経営及び使用料金についてですが、私は数年後に不足が見込まれる資金の財源に充当せず、上下水道料金の値下げを行うことが合理性の確保とは思えません。ご答弁で「経営努力により対応していきたい。」とありましたが、私は、これまでも十二分に経営努力はされてきたと認識していましたが、違うのですか。数千万円もの減収分を今後の経営努力で対応できるのであれば、これまでの経営は放漫経営をしてきたと言ってるようなものです。

また、上下水道は今の世代だけでなく、これからの世代も利用するものです。一時の余剰金を今の世代だけで使い切り、将来の資金不足には全く充当しないことが、負担の公平性が担保されていると言えるでしょうか。上下水道事業は企業会計です。企業なら、資金不足が見込まれる状況で、消費者や顧客に利益還元を行うでしょうか。一時的に喜ばれても、利益還元し経営が悪化、結果的に事業に影響や、料金の値上げを行う必要が生じれば顧客(市民)にとっては不安や不満が生まれることになるのではないのでしょうか。より厳格な経営感覚を持って、経営基盤の強化に努めて頂きたい

と心から要望しておきます。

【市民の期待と信頼に応えることについて】

(質問)

市民の期待と信頼に応えることについてですが、市長は豊中の最大の財産は「人」とであると常日頃から仰っています。所信表明でも「市民の皆さんとの“絆”を大切にし、「市民の期待と信頼に応えること」を常に心がける。」と述べられました。しかし、絆がしっかりと結ばれ、市民から期待を寄せて頂かなければ、どうしようもありません。市長は見事に再選を果たされたわけですが、選挙投票率が30.92%と3人に2人以上が投票に行っていない。この結果だけで考えると、まだまだ市民の方々の絆を深める、期待を寄せて頂ける余地があるのではないかと思います。市長はいかががお考えでしょうか？

<答弁>

市民の期待と信頼に応えることについてのご質問にお答えします。

本市の自治基本条例によりますと、市政運営の基本原則の一つに「市は、市政運営の透明性の向上を図り、市民から信頼される開かれた市政を推進しなければならない」とされているところでございます。

過去5回の市長選挙の平均投票率は29.4%ではありますが、投票率の如何にかかわらず、市政に対する市民の関心をさらに高めていくため、引き続き、積極的な情報発信・共有を図るとともに、参画と協働による市政運営に努めてまいりたいと存じます。

(質問)

市民の期待と信頼に応えることについてですが、投票率は前回(2006年)の市長選挙に比べて、今回約0.2%上昇しました。しかし、期日前投票数が前回より投票所が2か所増えたこともあり約6100票増加し、期日前投票を除くと約2.25%低下したことになります。そこで、伺いますが、市民の方々のご意見、ご意思をくみ上げるため、期日前投票の実施箇所を増やしてはいかがでしょうか？例えば、豊中駅や桃山台駅の市民サービスコーナーでの実施や、包括協定を結んでいる大阪大学など市内の大学に設置をお願いしてみてもと思いますが、ご見解をお聞かせ下さい。

<答弁>

市民が市政に関心を持って頂き、より多くのご意見、ご意思をくみ上げ市政に反映させることは、大切なことであり、選挙については投票率が向上することが、当委員会としても何よりも重要な課題であると考えています。

期日前投票については、今回の参議院議員通常選挙で有権者の一割を超える3万5689人の方が期日前投票を行っておられることから考えても、一定の効果を示していると思います。

また、期日前投票所を設置するには、どのような選挙でも対応できる一定の広さが必要であり、常に施設を選挙のために最優先として使用できること、そして、従事する職員の確保も必要です。さらにシステムの維持管理等に多額の経費も必要となります。選挙経費にかかる国の交付額と豊中市の執行額では、この期日前投票管理経費が一番大きな差異を生じております。平成19年度の参議院選挙で見ると、期日前投票管理経費の国の交付額は、執行額の5分の1ほ

どです。

ご指摘のように、期日前投票所を増やすことは、投票率向上につながるかわかりませんが、他の選挙経費を圧迫するか、市の独自財源を投入しなければなりません。国のほうでは選挙執行経費の削減が検討されていることから、期日前投票所は現状の3か所を維持することが当面の対策であると考えております。

(意見・要望)

今回の市長選挙では、投票された方の約10%が期日前投票でしたし、今月行われた参院選に至っては、投票された方の約19%が期日前投票でした。先ほどのご答弁で課題が多々あること、選挙経費のねん出に苦慮されていることが、良くわかりました。一方で、国が選挙執行経費の削減を検討していることは全く理解ができませんが、最低でも現在ある期日前投票所3か所の維持とともに、今後も様々な投票率向上策を検討、実施して頂きたいと要望しておきます。

今回もそうですが、市長しか答えられないと思われる質問を市長に対してしたのですが、部長が答弁されたり、こちらの質問に対して、明確な答弁がなかったり、質問の答えになっていない答弁をされることがあります。こういった対応は、まさしく、形式主義に流れ、不親切で非能率的な役所の仕事振りで柔軟な対応に欠けていると言えるのではないのでしょうか。また、そういった姿勢・対応が、みなさんの部下の方々や市役所全体に悪影響を少なからず及ぼしている気がします。是非とも、そういった点をご留意頂き、市民から関心、期待、信頼される市政の推進に努めて頂きたいと要望して、無所属 神原宏一郎の個人質問を終わらせて頂きます。ありがとうございました。